

信号機の改良による各種効果

○ 交通円滑化効果(千人・時/基・年)

◇ 信号制御の改良

事業 年度	集中制御化		プログラム多段系統化		右折感応化		多現示化		半感応化		計
	基数	短縮効果	基数	短縮効果	基数	短縮効果	基数	短縮効果	基数	短縮効果	短縮効果
令和3年度	257	3,534	118	616	20	64	272	163	43	68	4,444
令和4年度	73	1,092	83	575	18	57	203	122	5	8	1,854
令和5年度	103	2,017	99	741	9	29	180	19	9	14	2,820
令和6年度	141	2,686	108	958	9	29	156	17	22	35	3,724
小計	574	9,328	408	2,890	56	178	811	321	79	125	12,841

・「短縮効果」とは、交通安全施設等整備事業により1年間に短縮されたと試算される自動車利用者の旅行時間を表す。単位は(千人時間/年)であり、1,000人の自動車利用者の旅行時間が1年間に1時間短縮されることを意味する。

・「短縮効果」の算出に当たっては、「交通安全施設の効果測定」により、1事業当たりの整備前後の交通円滑化効果について調査し、得られた数値を統計学的に処理したものを短縮効果係数(アウトカム係数)とし、これに整備基数を乗じて得られた事業ごとの短縮効果を累計することにより算出している。

・単位未満四捨五入しているため、表中の各項目の和が小計と必ずしも一致しない。

○ 二酸化炭素排出量抑止効果(tCO₂/基・年)

◇ 信号制御の改良

事業 年度	集中制御化		プログラム多段系統化		右折感応化		多現示化		半感応化		計
	基数	削減効果	基数	削減効果	基数	削減効果	基数	削減効果	基数	削減効果	削減効果
令和3年度	257	5,490	118	957	20	118	272	253	43	280	7,097
令和4年度	73	1,683	83	886	18	217	203	189	5	33	3,008
令和5年度	103	3,115	99	1,144	9	109	180	167	9	59	4,594
令和6年度	141	4,141	108	1,477	9	109	156	145	22	143	6,015
小計	574	14,429	408	4,465	56	552	811	754	79	514	20,714

・「抑止効果」とは、信号制御の改良により抑止されたと推計される二酸化炭素排出量(単位:t-CO₂/年)であり、「交通安全施設の効果測定」により、1事業当たりの整備前後の交通円滑化効果について調査し、得られた数値を統計学的に処理したものを二酸化炭素抑止効果係数(アウトカム係数)とし、これに整備基数を乗じて得られた事業ごとの抑止効果を累計することにより算出している。

・単位未満四捨五入しているため、表中の各項目の和が小計と必ずしも一致しない。